

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 2 月 15 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		1Fは大広間と個室が2室で100㎡・2Fは60㎡広いスペースを活かして大縄や鬼ごっこなど身体を使った遊びを取り組んでいる	今後も、支援内容を充実させ粗大運動を取り入れていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	事業所は場所 トイレが広い	事業所内は段差がない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		使用した玩具・文具・椅子等は毎日消毒 空気清浄機・加湿器使用	遊ぶ所とおやつやお弁当を食べる所がある程度区切られている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		仕切りは無いが一人になれる場所は確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	日頃の療育を振り返り、改善に向けて情報改善に向けて情報を共有し合う場を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	アンケートの集計を職員間で共有し、支援に反映できるよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		月に1度職員と面談を行い、意見を把握する機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		現在は行っていません 今後、検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		適宜、外部研修に参加 内部研修にて、周知している	今後も研修・勉強会の機会を設け、職員の質の向上を行います
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	ホームページに掲載	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		利用契約時のアセスメントで、一人ひとりのニーズに合わせて支援計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		日々の支援内容を情報共有し子ども一人一人の課題を明確にできるようにしている ケース会議を通して情報共有を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画にそって、どのように支援するかを全体で確認する時間を取っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	対象児に合った支援を選択し、具体的な支援内容を設定できるよう打ち合わせを行い、職員間で内容を確認して共有している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	活動を行う時は、職員で相談し合って行う	療育内容で何が子どもにとって今、重要なのか話し合い立案致します
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	療育内容を毎日決めて一人の考えで行わないようにしている 子どもが楽しんで参加できるよう考えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		偏らないよに考えて行っている	より子どもの発達や特性に合わせて、静と動、個別と集団を組み合わせたいけるように職員間で情報共有を行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		開始前に必ずミーティングを行い、子どもの情報・支援内容について共有	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	翌日の朝のミーティングで行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に1度、モニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		「4つの基本活動」を個別支援計画に反映させている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子どもたちが自由に選べるように環境設定を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が可能な限り参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	必要に応じて連携を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		必要に応じて電話などを行う	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			今後、関係機関との連携を図っていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		今後、関係機関との連携を図っていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		今後、関係機関との連携を図っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	個人情報の観点から行っていない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3	必要に応じて連携を行っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳やLINE、送迎時での報告などで行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		研修や本を利用し、知識を増やし必要に応じて保護者により良い支援を伝えていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時に保護者に書面で通知し説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期的にモニタリングを行い、保護者や利用者の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2	1	定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し、同意の署名をもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者からの相談は随時受付けており、必要に応じて対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	個人情報の観点から行っていない	各家庭事情を考慮して現在には行っておりませんが、要望があれば検討していきたいと考えております
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		保護者からの相談は随時受付けており、状況によって対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		定期的に行事予定の手紙を配布したり、支援の様子を写真で送っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		利用契約時に、個人情報の取り扱いについて書面を見せながら説明し、サインをもらっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		連絡帳への記入やLINEなどで情報を伝達している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	個人情報の観点から行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		契約時に生活で気を付けておかないといけない点などは聞き取りを行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	おやつ提供時には、複数の職員で確認するようにしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全研修を受け、事業所内研修も行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		災害時を含めた緊急時の連絡先を伝え合っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		発生した場合、事例集を作成している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待研修に参加し、虐待防止委員会を年に2回開催している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		対象児がいない	